

## 議会運営委員会会議録（平成22年4月28日開催）

### I 開催日時

平成22年4月28日（水）10時00分～12時15分

### II 開催場所

役場 4F 中会議室

### III 出席者

委員長：山谷 仁、副委員長：高橋 寿

委員：日向清一、遠藤秀鬼、柳村 一、黒沢明夫

議長：角掛邦彦、副議長：川原 清

事務局：太田局長、高橋次長、勝田主任主査

傍聴者：なし

欠席者：佐々木 剛

### IV 協議

#### 1 開 会 太田局長

#### 2 挨拶

山谷委員長 健康に注意しながら6月定例会に向けて頑張っていきたい。

角掛議長 任期が後1年となりまして、この3年間議会の改革、活性化に向けて議会運営委員会の皆様には苦勞をかけました。残り1年あるのでさらに改革を進めていただくようお願いいたします。

山谷委員長 出席委員の確認をする。定足数に達しているので、本委員会は成立する。

#### 3 協議事項

##### (1) 閉会中の継続調査について

##### ①議会の活性化について

##### (ア)平成22年度における議会活性化の取り組みについて

山谷委員長 検討の方法については、前期2年間と同様に議会運営委員会で継続的に調査並びに協議をします。

検討事項の①議会報告会については、後ほど細部について検討します。

②情報の開示については、既に実施済みです。③の地方自治法第96条第2項の規定による議決権の拡大について、例えば、都市計画マスタープランや高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、次世代育成支援行動計画など滝沢村の基本計画以外の計画にも拡大するかどうかについて協議する。

黒沢委員 今日、今後これらを検討していくという確認でいいのではないか。

柳村委員 先進地の事例を今後調査して検討してみてもどうか。

山谷委員長 ではそのように取り扱うことで宜しいでしょうか。

委員 【異議なし】

山谷委員長 そのように決定いたします。

山谷委員長 次に④について、昨年度新成人議会を開催したのですが、今年度も開催するかどうか。併せて子ども議会等の開催も行うか協議します。

柳村委員 新成人議会は、参加者の評判はすごく良かった。しかし、準備不足だった。成人式実行委員会に働きかけて、早い段階での取り組みが必要である。

山谷委員長 新成人のほか、こども、青年、女性、シルバー議会などの対応はどうしますか。

柳村委員 青年議会や女性議会やシルバー議会は、現在行っている懇談会でも対応可能であ

- る。
- 山谷委員長  
委員  
山谷委員長  
黒沢委員  
柳村委員  
山谷委員長  
委員  
山谷委員長  
柳村委員  
角掛議長  
高橋副委員長  
柳村委員  
角掛議長  
太田局長  
山谷委員長  
委員
- では、今年度も新成人議会を開催することで宜しいでしょうか。  
【異議なし】  
そのように決定いたします。  
次に⑤の陳情書を所管常任委員会に付託しての審査について協議します。現在は陳情については文書配付としております。  
村内から提出された陳情については、その都度内容がふさわしいかどうか議会運営委員会で判断して対応することでいいのではないかと。  
陳情者に対して、請願書と陳情書の取り扱いが違うことを受付の時にしっかりと説明すとも大切だ。  
現在事務局で対応し、説明も行っていることですが、更に徹底して説明していく事とします。また陳情書の取り扱いについては総合的に判断することで宜しいでしょうか。  
【異議なし】  
そのように決定いたします。  
次に⑥村長等への反問権の付与について協議いたします。2つの考え方があります。ひとつは、当局側からの議員に対する意見交換、考え方の聞き返しという意味での反問、二つ目は議員が質問している内容についての反問であります。  
当局側は反問権についてどのように考えているのか。  
私の今までの感想からいうと質問者の内容と答弁者の内容がかなりずれている印象がある。質疑されれば、当然答えなければならぬ。例えば、予算、決算審査特別委員会などで審議される時に、反問権を付与するとした場合に村長までとするのか、各部長までとするのかそこら辺を検討しなければいけないと思う。  
反問権についてどのように考えているかということ答弁者側からは言えないと思う。  
質疑と回答がかみ合うことが大切。反問権を付与するということではなく、議会運営委員会で質問と応答に対する考え方を示せばいいのではないかと。考え方の聞き返し程度は良いと思うが、質問の内容についての反問は会議が殺伐になってしまうことを心配する。  
議長采配の中で、質疑と回答のかみ合い方をその都度整理してはどうか。  
議員の質疑については、最後まで聞かないとどこに持っていこうとするのか意図が分からないことがある。議員側で明確な答弁が出来るような質問をしてもらえない。議長としては「只今の質問はこういう内容ですので、それについて答弁願います。」とは言いづらい。質疑内容を確認することを認めることは最低限必要だと考える。  
反問権の付与、⑧の自由討議は議会基本条例を制定する上で目玉となっている。他市町村の中で反問権を項目として掲載している条例でも、質問内容の確認程度しかうたっていないものもある。質問内容に対する反問権を与えれば、殺伐とした会議となることを心配する考えもあったが、住民からすると活気のある議論に見える場合もあると考える。議長の采配の中では難しいと思う。今後の条例制定に向けての継続取り組みとしては如何かと事務局では考えている。  
事務局案の通り継続取り組みとして宜しいでしょうか。  
【異議なし】

- 山谷委員長 そのように決定いたします。
- 次に、⑧の議員相互間の自由討議の実施について協議します。
- 黒沢委員 当局の議案に対して議員が質問して、それに対して他の議員が意見を言うイメージがある。それこそ殺伐とした会議にならないか。
- 高橋副委員長 こういう自由討議などは、情報公開していない時期の話であって、現在は全員協議会など全公開となっている。討議の場はたくさんあるしその内容も公開しているのだから敢て本会議場で行う必要はないと考える。
- 角掛議長 いろいろな討議の考え方がある。余裕を持ってもう少し検討してはどうか。
- 山谷委員長 では継続検討することとして宜しいでしょうか。
- 委員 【異議なし】
- 山谷委員長 そのように決定いたします。
- 次に、⑨討論の場の拡大について協議します。これまでは、反対討論があって賛成討論がある、逆に賛成討論があって反対討論ができる形式としている。順序を問わず討論を実施することについて議論を活発にすることが目的だ。
- 遠藤委員 ルールの話であって、反対がなくとも、賛成討論が出来るようにすればいいのではないか。
- 太田局長 会議規則52に討論方法が明記されている。会議規則の改正があれば出来るかとは思いますが、この方法が全国的な流れのように思う。具体には調べているわけではない。
- 高橋副委員長 反対があって賛成討論があるという討論の意味を良く考えれば、反対があることが前提ではないかとも考える。しかし、継続して考えていくほうが良い。
- 山谷委員長 これも継続として宜しいでしょうか。
- 委員 【異議なし】
- 山谷委員長 そのように決定いたします。
- 次に⑩議会基本条例の研究について協議します。
- 黒沢委員 ①～⑨までは具体的話だが、⑩はまたちょっと違う内容だ。当然検討していかなければならないと思う。
- 太田局長 当局では2年後くらいを目処に自治基本条例の取り組みを考えている。来年度は改選を迎えるわけですが、今年度は議会基本条例の素案作りを行い、改選後滝沢村の独自性を出した内容を入れていければと考えている。自治基本条例の制定と時が離れない時期に提案できればと事務局では考えている。
- 山谷委員長 分かりました。これも素案作りを前提として継続として宜しいでしょうか。
- 委員 【異議なし】
- 山谷委員長 そのように決定いたします。
- (イ) 議会報告会について
- 山谷委員長 事務局より説明願います。
- 太田局長 班編成について、前回の議会運営委員会で事務局で素案を作成するよりのことで2つの案について作成した。一つは常任委員会ごとで4班を編成する方法、二つ目は会派ごとで4班を編成する方法です。
- 開催時期については、6月定例会終了後の7月後半から8月後半の案、もう一つは9月定例会終了後の10月から11月の開催案です。
- また周知方法については、要領で決定したが、特にも議会広報は年4回の発行であり時期を失しないよう5月15日号と8月5日号の2回を使って周知する案

としました。

- 山谷委員長 開催時期について協議します。
- 黒沢委員 決算審査が審議される9月終了後が良い。
- 高橋副委員長 2週間程度の期間で10月初めがいいのではないかな。
- 山谷委員長 それでは、10月1日から15日までの15日間の平日19時から21時まででどうか。
- 柳村委員 要領では土日、休日の開催も可としている。平日に限らない方が良い。
- 高橋副委員長 土日は行事が立て込んでいる。自治会のほうが忙しいのではないかな。
- 黒沢委員 土日が可となっているので入れるべき。後は相手側に選択していただく方法しかない。
- 山谷委員長 それでは、10月1日から15日までの15日間とし、原則夜19時から21時までの開催として、相手側から日中の開催の打診があった場合についてはその都度決定することで宜しいでしょうか。
- 委員 【異議なし】
- 山谷委員長 そのように決定いたします。
- 黒沢委員 次に班編成について協議します。
- 黒沢委員 要領によれば、各常任委員が1人は入ると明記になっているので、会派毎というのは合わないのではないかな。会派毎は、独自に会派で開催できるのだから、議会として開催する報告会であるので、1案のほうが良いと考える。
- 山谷委員長 出向いた場合、書記、村に対する要望事項等の確認と提出について事務局ではどこまでお手伝い願えるものかな。皆さんの意見を伺いたい。
- 黒沢委員 報告会には議員で役割を決めて参加するのだから議員だけでやる方が良い。後日要望事項の整理については、事務局にお願いできるのではないかな。事務局の参加は必要ないと考える。
- 遠藤委員 事務局も含めて議会である。議員4～5名では、答えられない部分も出てくるかもしれない。ぜひ事務局にも当日参加していただきたいと考える。
- 柳村委員 村政調査会で傷害保険を掛けることで決定した。議会として参加するものだ。班の中で議員の役割をちゃんと決めてやるべきである。事務局の当日参加は必要ないと思う。
- 日向委員 要領の中で、班の役割については、班で協議し決定できるとしている。事務局の当日の参加は必要ないと思う。
- 山谷委員長 班毎に役割分担を決めて対応し、後日当局に対する要望その他の整理、照会については事務局にお願いすることで宜しいでしょうか。
- 委員 【異議なし】
- 山谷委員長 そのように決定いたします。
- 高橋副委員長 それでは、班編成についてはいかがですか。
- 高橋副委員長 会派毎だと会派の考えが強く出てしまいよくないと思う。色々な会派が混じっている方がよい。私は1案に賛成だ。
- 柳村委員 1案に賛成だが、議員の地域割りや議員の経験年数を考慮した方がよいと思う。そうすると事務局案もメンバーを少し変えたほうがよいと思う。
- 黒沢委員 同じ地域の議員がダブらないようにしたほうがよい。
- 山谷委員長 それでは、皆様の意見を集約して、1班は遠藤秀鬼議員、黒沢明夫議員、山谷仁議員、日向清一議員、長内信平議員の5名、2班は柳村一議員、鎌田忍議員、高

橋寿議員、西村繁議員、佐藤美喜子議員、櫻井博義議員の6名、3班は佐藤澄子議員、斉藤健二議員、相原孝彦議員、高橋盛佳議員、武田俊和議員の5名、4班は武田猛見議員、山本博議員、川原清議員、熊谷初男議員、佐々木剛議員の5名の編成で宜しいでしょうか。

- 委員 【異議なし】
- 山谷委員長 そのように決定いたします。
- 高橋副委員長 例えば1班に所属しているが、日程が確定した時に、万が一出られない、2班の日程なら出られるという場合、委員会の中で調整は可能か。
- 日向委員 委員会の中で、委員同士が調整できれば可能ではないか。変われば地域割りはダブルかもしれないがしょうがないのではないか。
- 角掛議長 事前に各自治会に日程を示して、各自治会から希望日を募ります。その後班長で日程調整会議をして、割り振ればいいのではないか。
- 黒沢委員 今の意見に賛成だ。日程調整会議を開催すれば欠席ということが少なくなる。
- 山谷委員長 では、日程調整は班長会議で行うこととし、今の意見のとおり、もし調整が必要となれば各常任委員会の中で調整することとして宜しいでしょうか。
- 委員 【異議なし】
- 山谷委員長 そのように決定いたします。
- 高橋副委員長 次に周知方法については、5月15日号と8月5日号に載せることで宜しいでしょうか。
- 高橋副委員長 各自治会に対して通知することはもちろんだが、村の広報にも載せてみてはいかがか。
- 太田局長 検討いたします。
- 日向委員 掲載記事の中で、自治会と開催するという文言が入っていない。検討して欲しい。
- 高橋副委員長 文字は少なくしたほうがよい。細かすぎる。
- 山谷委員長 次に先進地の視察について協議します。日程は6月1日から4日の間で、場所は福島県方面、1泊で行いたい。
- 事務局 視察場所については、現在福島県の会津美里町と交渉中です。
- 山谷委員長 皆様の意見を踏まえ、6月1日と2日で行うこととして宜しいでしょうか。
- 委員 【異議なし】
- 山谷委員長 そのように決定いたします。

【休憩 11 : 20】

【再開 11 : 30】

## (2) 平成21年度政務調査費の確認について

- 高橋次長 政務調査費の一覧についてですが、政務調査費の収入額より支出額が多い議員の場合（自己負担額）としていくら支出したのか記載した方が良いのではないかとのご意見があったのでご協議いただきたい。
- 黒沢委員 自己負担の記載はなじまないと考える。
- 日向委員 返還額が0で表示されれば自己負担はいらぬのでは。
- 高橋副委員長 昨年度までの記載の通りで良い。自己負担はいらぬ。
- 柳村委員 報告書には、支出金額のまま載っているから、そのままの記載で良いのではないか。
- 山谷委員長 では、載せないこととして宜しいでしょうか。
- 委員 【異議なし】

山谷委員長　　そのように決定いたします。

机に各会派、各議員の政務調査費の報告書を並べ、順次議会運営委員に確認頂いた。

【終了12:15】

以上のおり報告します。

平成22年5月11日

議会事務局　勝田裕征